

## ゼロからの iPad ワークショップ

（基礎コース・活用コース）

主催：慶應義塾大学・中野研究室、広島大学・氏間研究室

日時：1月22日(金) 16時00分～17時30分

会場：ウェルビューかごしま 潮騒 III

### 1 全体プログラム(16:00～16:45)

16:00～16:05 開会挨拶と趣旨説明（中野泰志@慶應義塾大学）

16:05～16:15 最新版 UD ブラウザについて（中野泰志@慶應義塾大学）

（実際にアプリを操作しながら行う）

1月に完成したばかりの最新のUDブラウザを操作していただきます。最新版のUDブラウザでは、ラインマーカーや手書き入力等が出来るようになりました。

16:15～16:35 実践事例報告（三上信雄@福井県立盲学校）

（実際にアプリを操作しながら行う）

#### ①なぜ、タブレット端末を使うか

私自身が、どんな意図でタブレット端末を授業で取り入れているかを少しお話ししたいと思います。

#### ②実践事例報告

前日の弱視研では、昨年度実施した中学部修学旅行での iPad 使用について発表させていただきましたが、時間の関係で発表できなかった部分について紹介したいと思います。

また、小学部自立活動や中高体育科での iPad 使用例について紹介します。

#### ③実際に使ってみましょう

実践事例報告の中で紹介したアプリの中で、家計簿アプリ「ReceReco」と動作分析アプリ「ウゴトル」を実際に使いながら体験してもらおうと思います。

16:35～16:40 物品紹介（岡島喜謙@福井県立盲学校）

16:40～16:45 選択コースの説明・移動

## 2 選択プログラム(16:45~17:25)

### (1) 基礎コース(中野泰志@慶應義塾大学)

iPadは弱視教育でどんな風に活用できる？

- ・弱視児にiPadの操作を教える際の留意点
- ・iPadを見やすくするための操作の基本(アクセシビリティ機能等)
- ・ルーペや単眼鏡の代わりとしてiPadを使う(カメラアプリ)
- ・弱視児が苦手な活動をiPadで支援する(各種便利アプリの紹介)
- ・その他(参加者のニーズに応じてワークショップを進めます)

### (2) 活用コース1(上野敬太@長野県立松本盲学校)

UDブラウザで作成する自作教材

- ・PDFってどう作る？
- ・リフロー表示では何が出来る？
- ・作った教材をUDブラウザへ入れてみよう。
- ・リフロー表示をアレンジしよう。

### (3) 活用コース2(氏間和仁@広島大学)

一歩先行く活用法(氏間和仁@広島大学)

- ・筆順辞典アプリ, Pic Collage を利用した漢字指導の実践例
- ・GoodNotes アプリを利用したワークシート

## 3 閉会(17:25~17:30)

17:25~17:30 閉会挨拶とアンケート記入(中野泰志@慶應義塾大学)

本ワークショップは、文部科学省初等中等教育局特別支援教育課委託開発事業(学習上の支援機器等教材開発支援事業)「視覚障害のある児童生徒が授業場面で有効活用できる教科書・教材等閲覧アプリの開発--盲、弱視、晴眼の児童生徒が共に学べるUDアプリを目指して--」、文部科学省初等中等教育局教科書課委託研究事業「特別支援学校(視覚障害等)高等部における教科書デジタルデータ活用に関する調査研究」、文部科学省科学研究費基盤研究(B)「視覚障害者の高等教育における合理的配慮のための教科書デジタルデータ活用システム」より支援を受けて実施いたします。

\*定員に余裕がある場合には、当日参加も可能です。